神戸新聞 2026年05月17日 日曜日 面名 教育Ａ １３ 14ページ

かいけつ！時事ワード

石油の備蓄

アメリカなどとイランとの戦いで、石油を中東から日本に船でほぼ運べなくなり、ガソリン代が急に上がるなどしたため、国は備蓄してきた石油を、３月から手ばなし始めました。

石油はガソリンのような燃料やプラスチック製品などの原料に使われる資源。資源が少ない日本は石油のほとんどを、サウジアラビアなど中東の国からの輸入にたよっています。

このため中東での戦争や、国内の大災害にそなえて石油をたくわえる必要があり、1972年、民間会社による石油の備蓄が始まりました。73年、中東での戦争をきっかけに、石油のねだんがはね上がる「石油ショック」が起き、世界中が大こんらんしました。日本は法律で石油をたくわえるよう定め、78年に国も石油備蓄を始めました。

最近の日本の石油備蓄は国と民間を合わせ、国内で使う量の200日分以上あり、このうち約50日分を石油会社に売るなどして、今度の中東の戦いによる不足を、おぎなう計画です。戦いを止める動きもありますが、石油不足の不安がなくなるかどうか、はっきりしません。

(C)神戸新聞社 無断転載 複製および頒布は禁止します。

上の記事を読んで、次の問いに答えましょう。

1　石油はどのようなことに使われる資源でしょう。二つ書きましょう。

[　　] [　　]

2　[　　]に本文中の語句を入れて、日本の石油備蓄に関する年表を完成させましょう。

1972年	[①　　]による石油備蓄が始まる。
1973年	[②　　]が起き、世界中が大こんらんする。
1978年	[③　　]も石油備蓄を始める。
2026年	[④　　]などと[⑤　　]との戦いが起こり、中東から[⑥　　]で石油を運べなくなったので、[⑦　　]は[⑧　　]月から備蓄してきた石油を放出し始めている。

NIEワークシートのこたえ（2026年５月25日公開）

◆ワークシート「 石油の備蓄＜かいけつ！時事ワード＞(社会)」
2026.5.17付　朝刊　１４面　解答

１　燃料　　プラスチック製品などの原料

２　①　民間会社　　②　石油ショック　　③　国

④　アメリカ　　⑤　イラン　　⑥　船

⑦　国　　⑧　３

すてっぷあっぷ

★わたしからのひとこと！（記事を読んでの感想や意見を１行で書いてみましょう。）

★１００字シート（□にチェック）　　□記事の要約　　□記事に対する感想・意見